

# ふくいのかか

福井県生活協同組合連合会

〒910-0842 福井市開発5丁目1603番地(県民生協本部センター内)

TEL0776-52-8815 FAX0776-52-2050 Eメールアドレス kenren@fukuicoop.or.jp

区画整理に伴う  
住所変更のご案内

福井市の土地区画整理事業換地処分に伴う町名・地番変更により当生協連合会の住所表示が上記の通り変更となりました。移転ではなく郵便番号および住所表示のみの変更となります。

2013年11月8日 No.101

<http://www.fukui.coop/kenren/>

福井県生協連合会

検索

## 第17回 Coast Cleaning 海岸クリーンアップ ボランティア活動報告

福井県生協連合会では、「ナホトカ号重油流出事故」が起きた1997年から毎年、海岸クリーンアップ活動を実施しています。第17回を迎えた今年は、2会場(9/7鷹巣海岸、9/14三国サンセットビーチ)で総勢246人が海岸清掃ボランティア活動にご参加くださり、放置されたままのバーベキューコンロや網、使用後の花火、空き缶やペットボトル、釘のついた大きな木の板や流木など約130袋分のごみを回収しました。三国サンセットビーチでは植え込みにまでたばこの吸い殻やペットボトル、空き缶が捨てられており、海岸だけでなく植え込みまでゴミの回収に汗を流しました。ご参加いただいた皆様、大変お疲れ様でした。



## 弁護士による くらしの相談会を開催します!

日時 11月16日(土) 10時~16時

場所 ハーツはるえ(組合員集会室)



弁護士による「くらしの無料法律相談会」を開催します。事前予約による個別面談相談(お一人当たり30分程度)です。些細なことでもお気軽にご相談ください。

主催 福井県生協連合会、福井県民生協、(公社)ふくい・くらしの研究所

後援 福井県

【お問い合わせ・予約受付】 ☎0776-52-0626  
(公社)ふくい・くらしの研究所

## 「生協ボランティア月間」が始まります。

2013年11月15日~2014年2月15日

福井県内生協ボランティア活動の一環として今年も「生協ボランティア月間」に取り組みます。古切手、書き損じ葉書、外国コイン、ベルマークを集めますので、ご協力ください。集まった収集物は福井県ボランティアセンターなどを通じて、収集ボランティア団体からコレクターなどに売られて換金されます。売上金が福祉活動に活用されます。



## 平成25年度 福井県総合防災訓練に参加

月日: 8月25日(日)

被害想定:

福井県丹南地方を震源とする地震及び福井県沖を震源とする地震が相次いで発生。鯖江市では家屋の倒壊や火災、ライフラインの被害とともに、集中豪雨による日野川の水位の上昇と地震による堤防の決壊が重なり、住宅等が浸水。越前町では高さ最大5.5メートルの津波が襲来し、沿岸地域が浸水。

訓練内容:

今回の訓練では、鯖江市と越前市に現地災害ボランティアセンターが設置され、県庁内に設置された県災害ボランティア本部に配属された生協連は、携帯電話を使って現地センターから支援物資要請の情報を集約し、物資手配を依頼、結果を現地センターに報告するという物資調達を担当しました。

## 福井県民安全課との懇談会開催

月日 8月9日(金)

会場 福井県民生協 宝永きらめき 2階会議室

福井県生協連では、生協担当課である福井県安全環境部県民安全課との懇談会を毎年1回開催しています。県民安全課からは藤井哲哉課長と浦田和恵主事を迎え、浦田主事から消費生活事業の概要と生協指導検査に関わる事項について説明がありました。

会員生協からは各生協の事業・活動を説明し、生協への理解を深めていただきました。

### <近年の検査において指摘などが多かった事項>

- ・変更登記が法定期間内に未実施。
- ・定款に定められている規約・規則などが整備されていない。
- ・二項組合員の加入手続きが定款の規定に従っていない。
- ・決算関係書類や事業報告書および付属明細書、監査報告等について、法令で定める事項や必要な注記が記載されていない。



## 第25回 近畿地区 生協行政合同会議開催

月日 8月30日(金)

会場 和歌山市  
ホテルグランヴィア和歌山

近畿地区7府県(兵庫・大阪・京都・和歌山・奈良・滋賀・福井)で構成している近畿地区生協県連協議会では、近畿厚生局および各府県行政との懇談会を毎年開催しています。今年は花王エコーラボミュージアム館長の妻鳥正樹氏による「花王の環境へのとりくみ」特別報告があり、「環境への一番の負荷は“使用”である」また「消費者視点」「現場主義」が「よきモノづくり」を実現する」として、商品のライフサイクル(原材料選びからゴミに出すまで)での環境対策をすすめるにあたって、お客様をはじめとしたさまざまなステークホルダーと「いっしょにeco」に取り組み、「自然と調和するこころ豊かな毎日」を実現するための“よきモノづくり”をめざしているとお話をいただきました。



## 3.11 を忘れない みやぎ生協から情報提供いただいた 被災地・宮城のいまをお伝えします

「まだまだ消えない  
住まいの不安」

生活再建のために最も基本的で重要な「住まい」。

しかし、被災地では住まいを巡って日々新たな問題が浮上しています。

早くも老朽化が進む仮設住宅、用地返還に伴う仮設住宅の撤去による仮設間転居、遅れがちな宅地造成、難航する集団移転の合意形成など、被災した人たちはそれぞれに困難な状況と向き合っています。

「まちづくりが始まったのは最近。

息子や娘たち家族に新しいまちの完成を待つ余裕などないから通勤・通学に便利な町へ引っ越していきました。

家を建てても、工事が遅れば転出する若い世代はもっと増える」との声も。

国は仮設住宅の入居期間延長を決めましたが、

それは狭く不便な生活が今後もしばらく続くということに他なりません。

復興の遅れが住まいの問題をより複雑にし、被災した人々をさらに辛い環境に追いやっています。



周辺に何も無い場所に建設が進む災害公営住宅(仙台市田子西地区)。しかし宮城県県の計画戸数15,754戸に対し工事が完了したのはまだ117戸にすぎない(13年8月31日現在)。

## 福井県協同組合連絡協議会 視察研修報告

月日 10月2日(水)

会場 賀川記念館、  
阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター

福井県協同組合連絡協議会(JA中央会、漁連、経済連、森連、生協連)で構成。事務局はJA中央会)幹事会の視察研修として、「賀川記念館」と「人と防災未来センター」へお伺いしました。

賀川記念館では西義人参事による講義を受け、賀川豊彦先生の生誕や活動・運動・事業の裏づけとなる「理論」がどのような過程で、またどのような方々の影響で培われていったのかがよく理解できました。賀川豊彦先生が理論だけでなく実践も、活動や事業の資金も自らの手でつくっていたことに、尊敬の念を禁じ得ませんでした。

「人と防災未来センター」では、まずシアターで阪神・淡路大震災の地震破壊のすさまじさを大型映像と音響で体感しました。また、震災の記憶としてさまざまな震災関係資料が、提供者の体験談とともに展示され、復興までの道のりをたどれるように工夫もされていました。防災・減災体験フロアや直近の台風18号被害のパネル展示もされており、大震災の記憶を風化させることなく、教訓を次世代に継承してかなければならないという強いメッセージを感じさせるセンターでした。



賀川記念館



人と防災未来センター

総(代)会議案書  
会員生協

ダイジェスト

2013年

A bill book digest of consumers' cooperative  
A BILL BOOK DIGEST OF CONSUMERS' COOPERATIVES

「福井県労働者共済生活協同組合  
第55回通常総代会」および  
「全労済福井県本部  
第4回代表者会議」開催

2013年7月30日(火) 福井県国際交流会館



福井県  
労済生協

「第55回 福井県労働者共済生活協同組合  
通常総代会」「全労済福井県本部 第4回代  
表者会議」が開催され、すべての議案が承認  
されました。承認された主な議題は以下の  
とおりです。

第55回  
福井県労働者共済生活協同組合通常  
総代会

1. 2012年度事業概況  
(1)加入状況 101,818件 390,329口  
(2)給付状況 1,581件 21,927,000円  
(3)出資金状況(組合員数) 118,017人  
(出資金額) 651,767,000円

全労済福井県本部 第4回代表者会議

1. 福井県本部統合事業 2011年度~2012  
年度計画《福井県本部ステップII(補強)》  
2012年度事業報告および決算報告について

(1)2012年度末契約状況について  
契約件数は312,024件(前年比90.01%)となり、契約口数は27,442,741口(前年比98.47%)となりました。この一年間の事業状況では、件数で▲34,629件、口数では▲425,102口の減少、対期首比増加率(口数)は▲1.53%の減少となりました。この大幅な減少の要因は、自治体における慶弔共済の取り扱いがなくなったことがあげられます。

(2)2012年度末給付状況について  
給付件数は14,829件(前年比102.66%)、2,343,063,129円(前年比96.77%)の共済金を支払いました。共済別の給付状況では、火災共済では件数では変わらないものの全焼事案や落雷などの影響で大幅な57,095,694円の増加となっています。自然災害共済では、県下での自然災害が少なかったことで、▲53件、▲23,420,201円の減少になっています。マイカー共済においては、242件、102,362,666円の大幅な増加となっており、軽微な事故でも共済を利用する方が増えてきております。

## 会員生協の活動報告 & 予定案内

### 福井県庁生協

#### 西日本ブロック 府県庁生協交流会を 福井県で開催しました!

9月12日・13日の2日間、福井市リバー・ジュアケボノに於きまして、西日本ブロック府県庁生協交流会が開催され、北は富山県から南は鹿児島県まで、12単協23名が出席しました。

各府県から2012年度の概況報告と2013年度の方針報告があり、職域生協を取り巻く環境の変化と現状について話し合いを行いました。また、京都府庁生協から出された「職域店舗事業の活性化」については、厳しい事業環境下の中での取り組み事例の報告があり、来店者対策等が議論されました。



翌日は、職員研修や人材育成を専門とするコンサルティングの会社から講師を招き、「プレゼンテーション資料作成研修」を行い、話し方の工夫や緊張した時の目配せ方など、実践的な指導を受けました。

### 福井大学生協

#### おかげ様で設立50周年を 迎えました 組合員と一緒に記念イベントを 進めます



福井大学生協は1963年5月1日に設立総会を行い、9月11日に設立認可を受けました。その後10月16日に法人登記を終えています。今年度は設立50周年の節目となり、今までの事業活動、組織活動に尽力された理事・監事、教職員、組合員の皆様に改めて感謝申し上げます。

改めて感謝申し上げます。

50周年を記念し、学生組合員と一緒に記念プロジェクトを設置し、様々なイベントをスタートしています。

これからも、福井大学の教職員、学生組合員の福利厚生を担い、キャンパスライフの向上を目指していきたく存じます。

### 管浜生協

#### 台風18号日本列島縦断 各所で被害! 雨に関する特別警報発令!

去る9/16(火)、台風18号が日本列島を縦断、各地で大きな被害が出ました。

今年8月に創設された「特別警報」が比較的災害の少ない私たちの地域に初めて発令されるとは皮肉なものです。当区も各所で被害が続出、人的被害がなかったのが不幸中の幸いでした。1日も早い復旧を願います。

組合員宅の裏山が崩れる



田んぼに土砂流入



土手の崩壊



山崩れ

### 医療生協

#### 嶺南ブロックで 施設づくりのための 組合員訪問がスタート!

医療生協嶺南ブロックでは新たな施設づくりを進めています。来年春オープンの新規介護事業所の建設を前に、9月23日に組合員訪問を実施しました。10月からの医療生協強化月間の準備を進めました。組合員訪問には、嶺南のみならず、福井・坂井・丹南のブロックからも組合員・職員が参加し総勢34名で組を作り訪問しました。訪問件数の6割を超す対話につながり、対話した中には「完成が待ち遠しい。家族で増資をします」とその場で出資金をお預かりするケースもあり、当日は15件、800口を超える増資につながりました。みどり支部の松宮支部長は「全県からたくさんの参加者で元気ができました。200万増資目標を突破するため弾みがつく取り組みになりありがたい」と語っていました。統一した嶺南の組合員訪問は来年3月まで毎月行われます。



## 台風・水害被害 支援報告

### 福井県民生協

9/16未明に発生した台風18号による、嶺南の水害に対して、県民せいきょうでは、被災エリアの共済加入者へのお見舞い活動に取り組むとともに、被災地自治体や地域への緊急支援物資のお届けや役職員によるボランティア活動(のべ37名参加)に積極的に取り組みました。

特に土砂崩れで孤立した常神半島の3地区には、宅配商品とともに、地域の皆さんへの緊急支援物資として飲料・パン・カップ麺などを船でお届けし、感謝の声をいただきました。

毎年台風やゲリラ豪雨による水害が発生しています。現在県内6市との災害時の物資協力協定を結んでいますが、今後も地域へのお役立ちができるよう取り組んでまいります。



小浜市の床上浸水したお宅の清掃と  
羽賀寺さんでの土砂運び



美浜町世久見から  
たんぼ便の荷物と  
支援物資を船に積み込み  
常神の孤立地区へ

### 福井県労済生協

福井県労済生協では9月17日に防災委員会を開催し、台風18号で被災された組合員へ迅速な被災調査ができるよう事務局全体で対応することを確認いたしました。火災共済、自然災害共済、慶弔共済のご契約がある組合員からの被災受付は63件になり、1日最大3組の調査班を編成し、週末を中心に被災宅へ訪問し調査を行いました。

なお、新聞などで床上浸水と報道されたエリアに対しては、被災連絡もできない可能性があることから、被災状況を確認するために電話や現地訪問をするなどして請求勧奨をおこないました。

#### 1. 被災受付状況(2013年10月4日現在)

受付件数	調査完了	対象外	調査待ち
63件	57件	7件	3件

※対象外には、受付した後架電時に対象外となったものを含みます。

#### 2. 被災受付をした住所は以下のとおりです。

小浜市・高浜町	若狭町	敦賀市	福井市内	坂井・あわら	その他
17件	22件	1件	7件	10件	6件